

責任をもって安全に！「よい使い手」になろう



学校や家庭でも、タブレットや家庭の端末を使い、学習に取り組んでいます。それは、学校と家庭の学びをつなぐことで、みなさんの学びがぐんと広がるからです。

タブレット等は、日常生活でも、学習でも、大変便利な道具です。しかし、使い方を間違えると、人を傷つけたり信用をなくしたりする道具にもなってしまいます。責任をもって安全に使い、「よい使い手」として、学びを広げていきましょう。



タブレットの使い方を確認しよう

1	学習のために使っています。学校では、学校・学級の約束を守って使っています。	<input type="checkbox"/>
2	無くしたり落としたり壊したりしないよう、大切に使っています	<input type="checkbox"/>
3	家庭では、使用する時間を家の人と話し合い、長時間にならないよう、休憩しながら使っています。また、寝る30分前には、使用をやめています。	<input type="checkbox"/>
4	次の日に備えて毎日充電し、忘れないように学校に持って行っています。	<input type="checkbox"/>
5	相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりする使い方をしていません。	<input type="checkbox"/>
6	カメラで撮影するときは、勝手に撮らず、許可をもらっています。	<input type="checkbox"/>
7	IDとパスワードを他の人に知られないよう管理しています。	<input type="checkbox"/>
8	その他、松山市「タブレット活用のルール」を守っています。	<input type="checkbox"/>

「よい使い手」になるポイント

① 学習のために使う



学校での学習や宿題に活用するのはもちろんですが、例えば、自主的に授業の続きをしたり、授業を振り返って復習をしたり、ドリル学習に取り組んだりできます。

また、学級活動、委員会活動、係活動、クラブ活動、部活動、プログラミングやタイピング、将来就きたい職業や疑問に思ったことを調べるなど、積極的に学びを広げていきましょう。

(ゲームや遊びの動画、勝手なアプリの追加などは学習と言えるでしょうか？自分で責任をもって判断できるようになりましょう。)

② 大切に使う

スポーツ選手やアーティストは、道具を大切に扱います。道具を雑に使う人は上手になれないからです。

タブレットも、学習や生活を助ける大切な道具です。落としたり、壊れたりしないように、十分気を付けましょう。



③ 健康に気を付けて使う

長時間の使用は目を疲れさせたり、寝付きが悪くなったりします。30分に一度は目を休ませ、寝る1時間前には使用をやめるようにしましょう。

また、正しい姿勢で、画面に目を近づけすぎないことも大切です。



④ 毎日充電し、忘れずに持っていく

タブレットを忘れて、充電ができていなかったりして、学校で困ったことはありませんか？教科書やノートを忘れると、学習ができなくて困るのと同じことです。次の日に備えて充電し、毎日持っていくことを習慣化しましょう。



⑤ 相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりする使い方をしないようにする



現実の世界はもちろん、インターネットの世界でも、相手の気持ちを考え、行動することはとても大切です。面白半分にしてしまったことが、取り返しのつかない結果につながってしまうことがあります。チャットなどに悪口を書き込むことや、人の心を傷つけること、Web会議や共有ノートでいたずらをする等々は、絶対してはいけません。「よい使い手」として、正しい判断ができるようになりましょう。

もし、自分や友達に対する悪口などを見付けいたら、スクリーンショットなどでその画面を保存して、先生や家の人に相談しましょう。

⑥ 肖像権や著作権を大切にする

無断で写真を撮影されたり他人に勝手に使われたりしない権利が、法律で決められています(肖像権)。人や人の持ち物を撮影するときには、必ず許可をもらってから撮影をするようにしましょう。



また、本や音楽、絵、写真などを勝手に使うことは、法律で禁止されています(著作権)。ただし、学校の授業で使う(例えば、インターネットで集めた写真をプレゼンテーションのスライドに使うなど)場合は、特別に許可なく(利益を不当に害することのない範囲で)使うことができます。

⑦ ID・パスワードをしっかりと管理する



IDは住所、パスワードは家の鍵、と例えられることもあります。パスワードはとても大事なものですから、絶対に他の人に教えてはいけません。自分のIDやパスワードをしっかりと管理することはとても大切なことです。もしも、パスワードが他人に知られてしまったり、勝手に自分の名前アクセスされていたりした場合は、すぐに先生や家の人に相談しましょう。

(公衆無線LANの中には、適切なセキュリティが施されていないものもあります。知らない無線LANに接続しないようにしましょう。)

⑧ 学びを充実させる

情報を集める

見学やインタビュー、実験や観察、アンケート調査など、自分自身で情報を集めることはとても大切です。カメラ機能やアンケート機能を効果的に活用しましょう。



情報を吟味する

インターネットを使って調べることはとても便利です。しかし、WEBサイトの記述などは、必ずしも事実とは限りません。情報の中身を確認することが必要です。



学びを表現する

プレゼンテーションをしたり、動画、新聞やリーフレットにまとめたりするなど、学習したことを自分なりの表現でまとめることで、より学びが深まります。教科の学びを深めるとともに、自分の表現能力を高めるための道具として活用しましょう。



保護者の皆様 日頃から、タブレットや家庭の端末を活用した学習にご理解、ご協力いただきありがとうございます。ぜひ、このリーフレットの内容をお子様と一緒に確認いただき、お子様が「よい使い手」として成長していけるよう、これからもご協力をよろしくお願いいたします。